

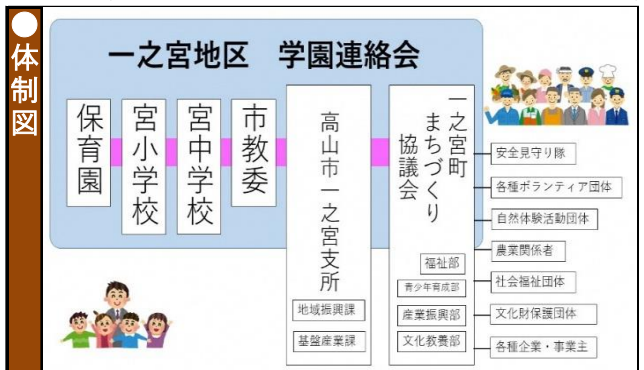
こんな活動です

学校と地域が一体となり、豊かな人間性と郷土への愛着を高める絆づくり

岐阜県高山市	●活動名	●関係する学校名
	一之宮地区学園連絡会	高山市立宮小学校 高山市立宮中学校

協働活動開始年度	平成 15 年度	関係学校数	2 校	のべ学級数	13 学級	のべ児童・生徒数	195 人
活動区分	学校支援活動	地域課題解決学習	地域人材育成				
	—	放課後子供教室					
統括的な地域学校協働活動推進員等の数	配置人数	地域学校協働活動推進員等の数	配置人数				
	1人		3人				
学校運営協議会	指定・設置日	ボランティアの数	延べ登録人数	企業・NPO等との連携			
	令和2年4月1日設置予定		112人	有			
参考URL	http://machikyo.hidamiya.com						

●連絡先	一之宮町まちづくり協議会事務局	☎ 0577-53-2424
------	-----------------	----------------



●活動の概要・経緯

- 平成15年度から一之宮町まちづくり協議会の前身である一之宮町社会教育運営委員会が土曜日の体験活動を開始し、地域住民の特技や経験、地元の文化や自然を生かした講座を提供。
- 平成20年度市教育研究所と不登校支援教室を一之宮地区に移転するに伴い「一之宮地区学園構想」のもと、小中学校、地域、市教委が学園連絡会によって連携を図り、一体的な教育活動を推進。
- 地元の自然や文化を生かした体験活動が多様で、児童生徒の関心興味を高めるものになっており、地域ぐるみで子どもを育てる体制が整備されている。

● 活動の特徴・工夫

【地域学校協働活動としての特徴的な取組】

- ① 保育園，小中学校，まち協，支所，市教委をつなぐ「学園連絡会」を毎月1回開催し，行事の日程調整，協力体制等を図っている。
- ② 「郷土学習」では地元住民が講師として読み聞かせや歴史・文化財学習の授業をサポートし，継続的指導と体制が整っている。
- ③ 課題解決学習 地元の自然を大切に育てる「バイカモを守る」(NPOと連携した川の環境保全)，「臥龍桜のすばらしさを伝える」(文化財愛護)，「宮川源流体験と河口に位置する富山県岩瀬小の交流」(自然を介した体験交流)，地元の「高齢者福祉施設訪問と交流」(福祉体験)，中学生の職場体験(企業と連携したキャリア教育)等，地元関係者や企業等とつながり多様な活動が継続して行われている。
- ④ 地域人材育成 神社祭礼の後継者育成のための文化伝承体験，ツリークライミング・稲作り等自然を生かした体験活動，夏祭りや文化祭，位山トレイル大会の企画運営に中学生も参加し大人と一緒に地域行事を担っている。

【実施に当たっての工夫】

- ・地域事業や行事を住民主体の協働活動として一体感をもって推進したいという願いを「学園連絡会」で共有。
- ・学校側から，中学生が授業の一環として行事に参加することで地域貢献し，地域の人と交流する機会にしたいとの提案。
- ・まち協で中学生のアイデアを実現する機会や活動できる任務の検討。不登校支援教室に通う生徒の活躍場所も確保。
- ・まち協が保育園，小中学校や支所，青少年育成部，産業振興部，文化教養部をつなぐコーディネーター役を務める。
- ・地域内全戸に広報「一之宮まち協だより」を配布し，情報共有をする。

● 地域学校協働活動を実施しての効果・成果

- ・地域住民が講師として「郷土学習」指導を継続して行っており，高い見識や充実した学習活動・資料により，子どもたちは確かな知識を身につけることができている。
- ・子どもたちは地域の多くの大人たちの支援をうけて様々な体験活動をすることで，地域での自己有用感を高め，さらに大人との交流を通じて挨拶や礼儀，コミュニケーション力といった社会性を高めている。実施後の満足度や達成感是非常に高い。
- ・行事に子どもたちが参加することにより，高齢者や保護者世代関係者の参加・参画が増え，住民一体となる機会になっている。
- ・まちづくり協議会がコーディネート機能を発揮し，多様な世代に対応する事業企画・運営力を向上させている。

● その他

「バイカモを守る」協力団体名 NPO飛騨一之宮バイカモを守る会，国交省高山国道事務所，高山維持出張所支部安全協議会 中学校の職場体験協力企業 17社



皆物バ
さん川
のイカ
モは
毎年
清流
を6
に年
育つ
いと
希少
です
。地
域の
植



豚の収
汁新穫
を鮮祭
作野で
り菜は
提が、
供大き
つまき
まぶな
り鍋
した入
。っ地
た元